

《剣道七段》

●十一月十二日 愛知
 齊藤 慎哉 (美濃)
 後藤 一広 (本巢)
 安藤 恵二 (本巢)
 棚瀬 秀一 (本巢)

横尾 俊憲 (不破)

《居合道称号》

●十一月十八日 東京
 錬士 栗本 英 (岐阜)
 高田 斉 (岐阜)

《剣道六段》

●十一月十三日 愛知
 末松健太郎 (関)
 吉田 沙紀 (岐阜)
 山中 進平 (岐阜)
 岩崎つばさ (中津川)
 佐藤 良宏 (郡上)
 田中 亮司 (大垣市)
 中澤 栄作 (郡上)
 赤江 光晴 (本巢)
 末松 大輔 (岐阜)
 加藤 晴信 (可児)
 大野 一美 (本巢)
 村井 秀幸 (羽島郡)
 西尾 太志 (恵那)
 桜井かね子 (本巢)
 伊藤 金司 (多治見)
 金子 史朗 (中津川)
 市岡 良平 (中津川)
 伊藤 隆 (各務原)

《居合道七段》

●七月二十二日 岡山
 渡辺 直 (加茂)

《居合道七段》

●十一月二十七日 東京
 日比野卓也 (岐阜)

《居合道七段》

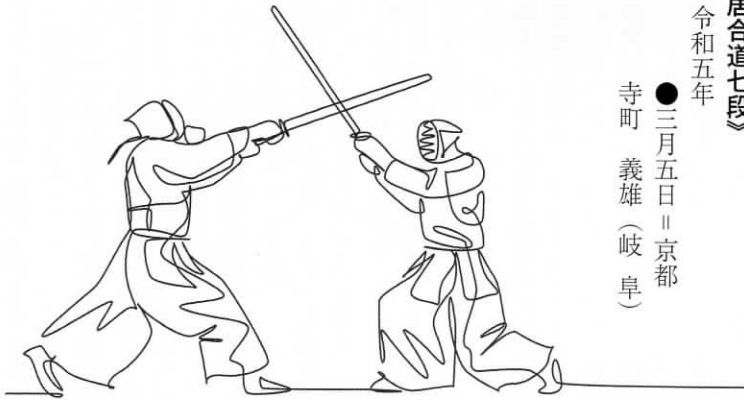
令和五年
 ●三月五日 京都
 寺町 義雄 (岐阜)

《剣道六段》

●二月十九日 長野
 増田 晃一 (岐阜)

《剣道七段》

●二月十八日 長野
 渡邊 貴佳 (本巢)
 金子 宣樹 (岐阜)



少年剣道

◎第47回春季少年剣道錬成大会

六月十二日(日) 第四十七回春季少年剣道錬成大会が、OKBぎふ清流アリーナで開催されました。今回は、小学一・二年生の部、三年生の部、四年生の部、五年生の部、六年生の部の個人試合に六百二十四人の参加者により、トーナメント戦で試合が行われました。コロナ禍ということもあり、観客数の

入場制限や、会場内では、案内表示版に従い入口と出口を分けるなど、また、観客席を前後左右一人分を空けるなど感染対策をとりながらの開催となりました。試合前には、木島副審判長から「試合者は、鏝競り合いを避ける。やむを得ず鏝競り合いになった場合は、すぐに分かるか、引き技を出す」など、暫定的な試合・審判法について、説明がありました。試合の結果は、次のとおりです。

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	敢闘賞
1.2年生の部	竹林 裕翔 (志道館)	加藤 愛奈 (志道館)	梶垣 真咲 (八心会)	武藤 陽輝 (関剣少)
3年生の部 (パート1)	加藤 結乃愛 (志道館)	三宅 翔大 (志道館)	片岡 陸人 (さくら会)	梅村 充 (羽島剣教)
3年生の部 (パート2)	加藤 優志郎 (志道館)	成瀬 満愛奈 (美濃加茂)	窄中 琴羽 (羽島剣教)	山腰 詠太 (穂積剣少)
4年生の部 (パート1)	小島 一 (若鮎剣志会)	乾 彩玖 (さくら会)	遠藤 圭悟 (緑苑剣少)	川島 悉花瑠 (誠心剣)
4年生の部 (パート2)	森山 心結 (八心会)	古森 奏志 (緑苑剣少)	渡瀬 月咲 (雙柳館前)	日比 悠真 (一剣)
5年生の部 (パート1)	池井戸 大晴 (下有知)	森 奏斗 (神武館)	河村 亮祐 (中島剣教)	脇本 佳奈 (志道館)
5年生の部 (パート2)	土橋 快都 (済命館)	内山 隼 (大垣西部)	荒井 陽翔 (済命館)	古田 紗羽 (大和)
5年生の部 (パート3)	牧 蒼空 (志道館)	リチャードン賢斗 (八心会)	小木曾 典 (済命館)	小澤 歩生 (大和)
6年生の部 (パート1)	大塚 心護 (誠心剣)	片桐 史陽 (滝呂剣少)	林 星偉 (さくら会)	清水 琉可 (池田町剣少)
6年生の部 (パート2)	市川 蒼士 (悟道館)	新屋 夏生 (八心会)	長瀬 裕紀 (桐生剣教)	宍戸 愛菜 (志道館)
6年生の部 (パート3)	三宅 真央 (志道館)	長谷部 結音 (究道館)	酒井 陽妃 (若鮎剣志会)	長田 莉緒 (桐生剣教)
6年生の部 (パート4)	後藤 桜 (悟道館)	多和田 妃珠 (志道館)	日置 駿光 (さくら会)	鈴木 虎太郎 (剣林館)